

表7 業種別・汚染物質別の事例数（超過事例）

業種区分 (日本標準産業分類による中分類及び小分類 の分類項目名及び分類番号) (注1)	総事例数	重金属等127件 (超過事例116件+複合汚染事例11件)										VOC55件 (超過事例44件+複合汚染事例11件)										合計(延べ数)		
		カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	PCB	セレン	事例数(小計)	ジクロロメタ	四塩化炭素	1,2-ジクロロエチル	1,1-ジクロロエチル	1,1,1-トリクロロエチル	1,1,2-トリクロロエチル	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ペンゼン	事例数(小計)				
																					%			
金属鉱業	(05)	1	0.6	1																	1	1		
総合工業	(09)	2	1.2		1	1	1	1														2	4	
施設工事業	(11)	1	0.6																			1	1	
繊維工業(衣類、その他の繊維製品を除く)	(14)	3	1.8	1	1	1		1	1	1							2	2			2	10		
木材・木製品製造業(家具を除く)	(16)	3	1.8					3														3	3	
出版・印刷・同梱産業	(19)	1	0.6					1														1	1	
化学工業	(20)	14	8.2	1	5	7	2	6	7	2	1	12	1	3	1			1		1	4	38		
石油製品・石炭製品製造業	(21)	1	0.6					1														1	2	
ゴム製品製造業	(23)	1	0.6											1			1		1		1	5		
窯業・土石製品製造業	(25)	5	2.9		1	1	2	1											1		1	7		
鉄鋼業	(26)	7	4.1	1		3	3	5	1	1	1	7										15		
非鉄金属製造業	(27)	9	5.3	3		6	1	4						1			1	1			2	17		
金属製品製造業	(28)	23	13.5	3	7	7	16	1	2	1		21		1	1		1	2	2		3	45		
うち金属被覆・刷削業、熱処理業(ほうろ う鉄器を除く)	(286)	17	9.9	2	5	6	12	1	1	1		16					1				1	29		
一般機械器具製造業	(29)	10	5.8		1	2	1	2				4		1	2		2		7	4	1	8	23	
電気機械器具製造業	(30)	5	2.9	1			2		1			3	1				1	2			2	8		
輸送用機械器具製造業	(31)	2	1.2				1	1				1					1	1			1	4		
精密機械器具製造業	(32)	1	0.6														1				1	1		
電気業	(35)	1	0.6		1			1	1			1										4		
ガス業	(36)	3	1.8		2	1		1	1			3		1					1		1	7		
鉄道業	(39)	2	1.2			2						2										2	2	
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	(51)	1	0.6			1						1										1	1	
洗濯・理容・浴場業 (注2)	(72)	22	12.9												3		1	10	22		22	36		
うち洗濯業	(721)	22	12.9												3		1	10	22		22	36		
自動車整備業	(77)	1	0.6		1							1		1			1	1			1	5		
その他の事業サービス業	(86)	1	0.6			1						1	1								1	2		
廃棄物処理業	(87)	6	3.5	1		3		1	1	1	2	6	1	1	1		1	1	1	1	1	16		
医療業	(89)	2	1.2			1			1			2										2	2	
学術研究機関	(92)	1	0.6		1							1										1	1	
地方公務	(98)	1	0.6					1				1										1	1	
その他 (注3)		41	24.0	5	2	23	8	24	12		1	39				1		1	3		4	80		
合計		171	100	17	19	60	37	55	33	6	8	127	4	6	6	3	6	4	3	30	40	5	55	342

(注1) 小分類で総事例数が10以上になる業種については、中分類の内訳として小分類での事例数を特記した。

(注2) 業種区分は日本標準産業分類に従ったため「洗濯・理容・浴場業」として掲げているが、汚染事例は全て「洗濯業」である。

(注3) 「その他」とは、自然由来と判断された又は汚染原因が特定できなかった等により業の特定ができない、若しくは過去の事例で業の区分が不明のもの。